

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	直営保育所の再編・民営化							掲載ページ	
								44	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		130,568	千円	-	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保育所運営の効率化と機能の集約・強化を図るため、児童数の減少等に伴う近隣の保育所との統合や、老朽化した施設の建て替え等にあわせて直営保育所の民営化を行い、施設の再編を進めます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	平成22年2月に策定した「元気発進！子どもプラン」に基づいて、計画的に直営保育所の再編・民営化を図ります。 具体的には、平成22年度から平成26年度までの5年間で、直営保育所4か所の民営化と1箇所の統合を図り、18か所に再編します。					
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	直営保育所の再編・民営化および老朽改築箇所数					
	直営保育所の再編・民営化及び民営化後の老朽改築を実施した箇所数が適当と考えられるため、活動指標に掲げました。 <small>（最終目標と最終年度）</small>	1 箇所	1 箇所	1 箇所 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	<small>（最終目標と最終年度）</small>				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 「経済性」「効率性」 の分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	計画通り、当初予定していた「初音保育所」の老朽改築を実施したことから、順調としました。 直営保育所の再編・民営化を進めることにより、保育所運営に係る市負担額の軽減と、保育所運営の効率化を図っています。
------------------	---	--	---

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

<p>現行プランに掲げている計画に基づいて、下記のとおり、直営保育所1箇所の統合と、1箇所の民営化に向けて取り組みを進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「修多羅保育所」と若松コスモス保育所の統合：平成27年4月統合予定 ・「折尾保育所」の民営化：平成27年度以降民営化予定 ※保育所移転先地における開発事業「折尾地区総合整備事業」の整備の遅れが影響している

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	障害児保育の充実						掲載ページ		
							43		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		187,636	千円	201,500	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	通常保育での受け入れに加え、延長保育、一時保育を含めて統合保育の可能な障害のある子どもの受け入れを行います。また障害のある子どもの福祉の向上と、保護者の就労を支援するため、関係機関の協力のもと、統合保育の可能な重度の障害のある子どもを直営保育所で受け入れます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	統合保育の可能な障害児を通常保育だけでなく、延長保育、一時保育での受け入れを行います。また、統合保育の可能な重度の障害児を直営保育所で受け入れます。			

活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)	前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	通常保育における障害児の入所可能施設数	障害児の受け入れを全保育所で行っていることから通常保育における障害児の入所可能施設数を活動指標としました。 (最終目標と最終年度)	158 施設 (100)%	160 施設	160 施設 100.0 %	大変順調
特別保育事業における障害児の入所可能施設数 保護者の仕事と子育ての両立支援を図るため、通常保育のみならず特別保育事業においても、一時、延長保育の実施保育所で障害児の受け入れを行っていることから、特別保育事業における障害児の入所可能施設数を指標としました。 (最終目標と最終年度) 延長保育153施設 一時保育64施設		(延長保育) 145 施設 (一時保育) 63	(延長保育) 148 施設 (一時保育) 67	(延長保育) 148 施設 (一時保育) 67 100.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 【経済性】 【効率性】 の分析	<p>障害児の受け入れが、全認可保育所(160施設)において可能な状況の中、平成26年3月1日において、109施設で322名の障害児を受け入れました。直営保育所では重度障害児18名を受け入れました。</p> <p>障害の有無にかかわらず、一緒に保育し、ともに育ち生活する中で、相互の健全な育成を図ることができたことから順調としました。保育所での保育が可能な障害のある子どもを積極的に受け入れていること、なおかつ就労を希望する保護者の増加が見込まれることから、障害児保育のニーズは高まると予想され、有効性は、高いと思われます。</p> <p>現在は障害児数に応じた職員配置を、常勤やパートで行っており効率性は高いと考えます。これ以上のコスト削減は困難と考えます。</p>
-----------	--	--

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

本事業は、児童の福祉向上に資するところも大きく、保護者の就労支援、子育て支援を図る上で施策に対する有効性も高く、今後も関係機関との連携、研修、会議等内容を工夫しながら、保育の質の向上を図り、着実に取り組むことが適当だと考えます。今後も継続して事業を実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	親子通園クラスの設置						掲載ページ		
							46		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,431	千円	2,901	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 直営保育所で「親子通園クラス」を運営し、発達の気になる子どもを保護者とともに受け入れ、保育所での遊びや体験、相談を通じて継続した支援を行います。また、直営保育所と保健、医療、福祉の関係機関が連携しながら、児童の保育所、幼稚園などへの移行を支援します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。					
活動計画	八幡西区黒崎保育所、小倉北区東篠崎保育所において、親子通園クラスを運営し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。							
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績 （達成率）		→	【活動の状況】	
	親子通園クラスの利用者数	269 組	200 組	217 組	108.5 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示すには、親子通園クラスの利用者数が適当と考えられるため、指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）7ヶ所、平成26年度			順調				
					やや遅れ	順調		
				遅れ				
	（最終目標と最終年度）							

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	小倉北区東篠崎保育所と八幡西区黒崎保育所の親子通園クラスで、遊びの提供や保護者との懇談を行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対し、継続した支援を行いました。黒崎保育所は延べ127組、東篠崎保育所は延べ90組の親子が利用しました。通園利用世帯に対して実施したアンケートで、利用者の満足度は100%でした。また、次年度の移行先が決定した世帯も62%を超え、移行支援としての成果も出ていることから順調としました。なお、本事業は全国的に先駆けた事業です。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の経費資源を活用することでコストを抑えるとともに、利用料として1世帯あたり月に4,000円を徴収しています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

実施している2ヶ所について検証していきながら、関係機関との連携、PRを行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対して、継続した支援を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	緊急時対応保育所の整備							掲載ページ	
								46	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	新型インフルエンザなどの感染症発生時や災害発生時など、保育所を一斉休園する緊急時に、両親とも医療関係者など、特に保育を必要とする保護者へ対応するため、直営保育所を「緊急対応保育所」として開所します。							
活動計画	「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて検討します。								
活動実績	活動結果は以下内容のとおりです。 直営保育所については、民間との役割分担を踏まえ、そのあり方自体を検討中です。								
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】			
活動指標	「緊急対応保育所」運用制度についての検討	-	-	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
	「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて検討します。 <small>（最終目標と最終年度）</small>						順調	順調	
	<small>（最終目標と最終年度）</small>				やや遅れ				
					遅れ				

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて検討し、順調に進んでいます。直営保育所については、民間との役割分担を踏まえ、そのあり方自体を検討中です。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。」	既存の施設や人員を活用してサービスを提供することが可能であるため、「経済性」「効率性」の高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

引き続き、「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて、検討します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	区役所における保育サービス等の相談・コーディネート機能の向上						掲載ページ		
							46		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	区役所の保育サービスに関する窓口の体制を強化し、保育サービスに関するきめ細かい説明や情報提供を行いながら、児童と保護者の状況を踏まえた保育サービス等のコーディネートに取り組みます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	入所窓口等体制等を強化します。					
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	入所窓口等体制の強化	—	—	—	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	障害児保育の入所調整など、保育ニーズの多様化とともに、入所事務が複雑化していることから、子ども総合センター、療育センターなどの療育機関や区保健福祉課等との調整のため、入所窓口等の体制強化を図ります。 <small>（最終目標と最終年度）</small>					
					やや遅れ	順調
<small>（最終目標と最終年度）</small>				遅れ		

【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「元気発進！子どもプラン」に基づき、区役所保育所入所窓口の体制強化を図っていることから順調としました。今後も引き続き、関係機関と調整を進めます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	現行の窓口の体制を強化し、多様化する保育ニーズに応えていく必要があり、民間活力導入にはなじまないと考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

区役所の保育サービスに関する窓口機能をさらに強化していくために、保育を希望する保護者等の相談に応じ、個別のニーズを把握したうえで、認可保育所のほか、一時保育や幼稚園預かり保育などの多様な保育サービスについての情報を提供する「保育サービスコンシェルジュ」を、平成26年8月から各区に1名ずつ配置します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	支援の必要な子どもと家庭を支えるネットワークの構築						掲載ページ		
							46		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		-	千円	-	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	発達の気になる子どもや、育児に不安を抱えた保護者など、支援の必要な子どもと家庭への個別の対応と継続した支援を行うため、区役所と直営保育所の連携を深め、保健・医療・福祉・教育の連携によるネットワーク作りを進めます。			活動実績	以下のことを実施しました。 ・親子通園担当者連絡会 ・親子通園担当者見学実習 (児童発達支援センター・子ども総合センター) ・保健師との連携(親子通園の情報発信・保健師の親子通園見学) ・保育所嘱託医への情報発信 その他、通園開始時や他施設への移行時における区役所、教育委員会等との連携		
活動計画	区役所と直営保育所の連携を深め、保健・医療・福祉・教育の連携によるネットワークづくりを進めます。							
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)		前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	ネットワークの構築		-	-	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	親子通園の利用者の入所調整、入所後の支援体制についてのネットワークづくりを進めます。 (最終目標と最終年度)							
			-	-	-	順調	順調	
(最終目標と最終年度)		やや遅れ						
		-	-	-	遅れ	順調		
(最終目標と最終年度)								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	小倉北区の東篠崎保育所と八幡西区の黒崎保育所が支援の必要な子どもと家庭を支えるため、区役所、医療、教育機関等と連携を進めていることから、順調としました。発達の気になる子どもや、育児に不安を抱える保護者が増えているので、直営保育所と区役所が連携したネットワークの構築は有効性が高いと思われます。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	直営保育所の機能を生かしながら、支援の必要な子どもとその家庭への個別対応と継続した支援を行うので、これ以上のコスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
<p>今後とも直営保育所の役割を明確にし、人材を活かしてネットワークづくりを進め、発達の気になる子どもや育児に不安を抱えた保護者支援を行います。親子通園を検証し、実施保育所間の連携の強化、また親子通園が実施されている区以外の区役所や関係機関とのネットワークの拡大・充実に努め、発達の気になる子どもや育児に不安を抱えた保護者支援を行います。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育サービスに関する情報提供の充実						掲載ページ		
							46		
コスト	事業費	平成24年度執行額		平成25年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	保育サービス	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	市ホームページ上で各保育所の入所状況を表示し、保育所入所希望者等への情報提供の充実を図ります。						
活動計画	ホームページ等の充実を図ります。						活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標 （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		→	【活動の状況】
	ホームページの更新回数				12 回			活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	平成21年度より、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開しており、毎月（年12回）の入所状況の公開を継続することが、入所希望者等への情報提供の充実に寄与するため、活動指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）		12 回	12 回	100.0 %		大変順調	
	（最終目標と最終年度）						順調	順調
	（最終目標と最終年度）						やや遅れ	
	（最終目標と最終年度）						遅れ	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画通り、毎月（年12回）、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開し、入所希望者等への情報提供の充実を図ったことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ホームページを活用した情報提供は、低いコストでより高い効果を期待できるものであり、これ以上のコスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
区役所窓口における保育所入所相談時に、ホームページによる情報提供の内容を周知していきます。

